

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP tptsisawachu.edumap.jp〉

卒業を祝して



3月14日に第6回卒業式を挙行了しました。式辞の中で、卒業生に伝えた内容です。

みなさんに伝えたいことは、校是である「自主共同」を胸に進んでほしいと言うことです。

自主について：今の社会は自ら行動することが前提になっており、言われたことを行うだけでは不十分になっています。自分ができることは何かを思いながら実行に移す力を備えていることが求められています。中学校ですでにできていることは、卒業後にも活用してほしいと願っています。

共同について：何かを成し遂げるためには、力を合わせる必要があります。一人でできることに比べて、まわりの人と力を合わせることで、できることがずっと多くなります。

その時、その場に一緒にいる仲間や同級生の存在を大切にしてほしい、お互いに頼って力を合わせていく関係であってほしいと願っています。これが共同の部分です。

自分から進んで取り組むこと、そして、みんなで力を合わせること、「自主共同」が胆沢中学校の校是です。出来ていることもたくさんありますが、完了ではありません。みなさんの前を歩んでいる先輩やたくさんの大人がいます、みなさんの後に続く後輩やたくさんの子どもたちがいます。どちらも大切にし、自分の思いをもって行動し、自分を磨き、成長する姿を楽しみにしています。

岩手に生きる一人として



東日本大震災発災の日を前に、毎年行っている追悼の会を10日に開催しました。今年は2学年震災学習遠足の報告と小説『田老の町で生き抜いて』で県芸術選奨を受賞した田沢五月さんの講話を中心に実施しました。

報告では、スライドも使いながら、現地で見聞きし、感じたことを発表しました。聞く側も思いを新たにすることができました。

田沢さんの講話は、ご自身の体験と取材で得た内容を織り交ぜながらのお話でした。明治、昭和、今回の津波に関わった方のお話、ご自身の田老防浪堤でのお話、現在の田老地区の様子などについて、時間の経過もふまえながらのお話でした。

報告も講話も、どちらも岩手に生きる一人として大切にしたい内容であり、貴重な学びの時間となりました。

祝 皆勤賞

今年度も胆沢岩手ライオンズクラブ様のご厚意により皆勤賞の授与が行われました。

本人の努力と共に、ご家族の支援や励ましがあってこそその大きな成果だと思えます。

おめでとうございます。

進級にあたって

修了式で1・2年生に話した内容です。

時間は私にもみなさん一人ひとりにも平等であり、過ぎてしまえばそれまでで、待ってられません。

その代わり新しい時間も次々とやってきます。このことも平等です。これからの時間をどのように使うのが大切です。時間はまだあります。必要な事柄について確認をして、4月の準備を続けてほしいと思います。

<交通安全・ネット安全>

春休みも安全で健康な生活を心がけてほしいと思います。特に、自転車使用時、インターネット・SNS使用時は、ルールを守りましょう。

高1調査⑩「部活動」

部活動（クラブ活動）を行っているか

運動系の活動に参加	52.8%
文科系の活動に参加	26.9%
参加していない	18.4%

部活動（クラブ活動）の満足度

仲間や友人との関係はうまくいっている	
そう思う	94.2%
思わない	5.6%
活動は楽しい	
そう思う	91.7%
思わない	8.1%

部活動への所属割合は高い数字です。所属先は、中学校と同じものである場合と別のものに選択の両方が想像できます。

どちらにしても、自分で選び、その活動に価値を見出せるものであってほしいと願っています。